

看護師になる決意を新たに！ 「ナーシングセレモニー」2024年7月10日開催

仙台市医師会看護専門学校（設置者：一般社団法人 仙台市医師会、学校長：松永 弦）は3年で看護師に求められる知識・技術の習得していく課程へ移行し、令和5年度に第1回生を迎えました。講義や演習などの様々な課題を乗り越えてきた第1回生は、病院・診療所・福祉施設・保育所など各看護学分野での実習をいよいよ目前に控えています。

初めて患者さんへ直接看護する実習が始まるのを前に、看護師を目指す意識を高め、決意を新たにする節目の行事として2024年7月10日（水）午後2時から本校3階講堂にて「ナーシングセレモニー」を開催いたします。



【開催概要】 仙台市医師会看護専門学校 ナーシングセレモニー
日 時：2024年7月10日（水）午後2時から
場 所：仙台市医師会看護専門学校（仙台市泉区八乙女3丁目1-1）
ホームページ：<https://www.sendai.miyagi.med.or.jp/school/index.html>

【さらなる看護の道を歩むべく気持ちを新たにします】

当日は、学生一人ひとりがナイチンゲール像より灯をいただき、整列して誓いの詞を述べます。その後、学校長の式辞、設置者である仙台市医師会・実習病院看護部長より祝辞をいただく予定です。

【ナーシングセレモニー】

戴帽式とは、看護学生が初めて実習に臨む前に看護師としての責任、看護師としてあるべき姿を自覚してもらうための儀式です。現在では、ナースキャップが廃止されているため、ナーシングセレモニーなどと名称を変えています。キャンドルに火を灯すのは、ナイチンゲールがランプの貴婦人と呼ばれたことに由来しています。